



お寺に和洋の四重奏 高崎

本県出身の東京芸大生と卒業生で構成する音楽ユニット「ムジカ・コンカドーロ」による演奏会が13日、高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓司住職)で開かれ、檀家ら100人が尺八やフルートの音色に聴き入った。サクソホン、尺八、フルート、ピアノの4人が出演。ビバルディの「春」や日本の四季にまつわる童謡メロデーなどが披露され、和洋の楽器による音の調和が聴衆を楽しませた。写真。

同寺では毎年春に開く大般若会と大施食会の前に、落語家や樹木医を招いて講演や演奏会を実施。若手演奏家を応援しようと、同ユニットの出演を依頼した。

お寺に和洋の四重奏 高崎

本県出身の東京芸大生と卒業生で構成する音楽ユニット「ムジカ・コンカドーロ」による演奏会が13日、高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓司住職)で開かれ、檀家ら100人が尺八やフルートの音色に聴き入った。

サクソホン、尺八、フルート、ピアノの4人が出演。ビバルディの「春」や日本の四季にまつわる童謡メロデーなどが披露され、和洋の楽器による音の調和が聴衆を楽しませた。

同寺では毎年春に開く大般若会と大施食会の前に、落語家や樹木医を招いて講演や演奏会を実施。若手演奏家を応援しようと、同ユニットの出演を依頼した。